

主な議案 9月 定例会

今回は、平成20年度決算の認定と保健センター建設工事請負契約の締結についてなどです。
質疑については、本会議で報告された各委員会の委員長報告を要約して掲載します。

平成20年度決算を認定 一般会計・特別会計で81億円の歳入減

決算審査特別委員会 審査のあらし

本会議での説明後、議会選出の監査委員（加藤誠議員）を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。

さらに、企画総務、福祉経済、建設水道、文教の4分科会を設置しました。

分科会では、監査委員に出席を求め、審査が行われました。

24日の決算審査特別委員会は、分科会での審査結果を踏まえ、委員会としての採決を行いました。

討論では、南口再開など箱物偏重の決算であること、後期高齢者医療制度は年齢による差別であることなどから反対であるとの意見がありました。

一般会計、後期高齢者医療特



代表監査委員による意見陳述

別会計、介護保険特別会計については、起立採決の結果、賛成多数により、原案のとおり認定することに決定しました。
そのほかの決算議案については反対意見はなく、原案のとおり認定しました。

（分科会での主な質疑項目）

■企画総務関係

海外派遣研修事業の研修内容、時間外勤務の要因、市債の返済時期、電算管理事業の業務内容、新規採用予定者健康診断の対象者、各種審議会における女性登用率

■福祉経済関係

保育園待機児童の待機理由、福祉タクシーの利用額、家具転倒防止器具取付の達成率、可燃ごみの収集量、農業委員会の開催状況

■建設水道関係

松くい虫薬剤防除業務の委託内容、給水利益の悪化理由、耐震型鋳鉄管の耐久性、耐震型鋳鉄管の布設替えスケジュール及び必要経費

■文教関係

市民休暇村の稼働率、小中学校英語指導手の講師賃金、標準学力テストの公費負担、教育委員会の議案内容、市民大学講座における収益

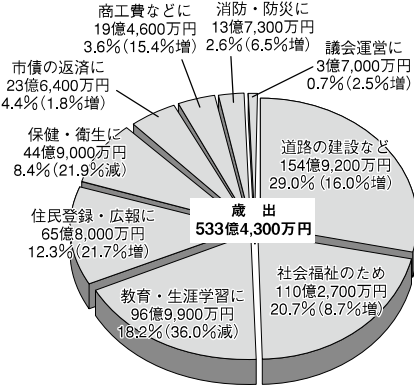
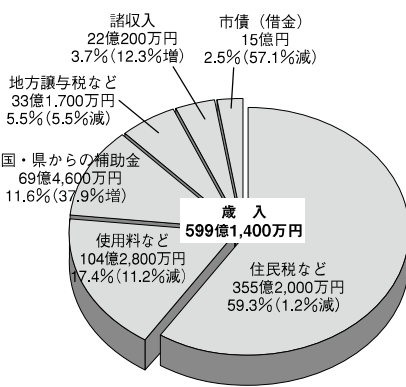
各会計別の決算額

会計名	歳入 (前決算年度対比)	歳出 (前決算年度対比)	形式収支 (歳入歳出差引額)
一般会計	599億1,400万円 (▲2.9%)	533億4,300万円 (▲3.8%)	65億7,100万円
特別会計 合計額	245億6,000万円 (▲20.4%)	224億7,800万円 (▲22.7%)	20億8,200万円
水道事業 会計	26億6,400万円 (+1.8%)	25億3,100万円 (+2.7%)	1億3,300万円
各会計の 合計額	871億3,800万円 (▲9.8%)	783億5,200万円 (▲10.0%)	

特別会計内訳	歳入	歳出
区画整理事業合計	10億6,700万円	6億1,400万円
下水道事業	66億4,200万円	59億3,800万円
国民健康保険	100億7,700万円	93億8,100万円
老人保健	8億8,700万円	8億8,400万円
後期高齢者医療	9億9,000万円	9億5,700万円
介護保険	48億9,700万円	47億0,400万円

一般会計の内訳

(前決算年度対比)



- 〈地方譲与税その他の内訳〉
- ・利子割交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金
 - ・地方消費税交付金・自動車取得税交付金
 - ・地方特例交付金・地方交付税・交通安全対策特別交付金
- 〈使用料その他の内訳〉
- ・手数料・分担金及び負担金・財産収入・寄附金・繰入金
 - ・繰越金

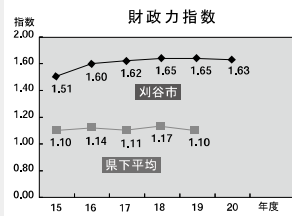
- 〈商工費その他の内訳〉
- ・農林水産業費・労働費・諸支出名
- (注) それぞれの数字は四捨五入してとるため、総額や割合に一致していない場合があります。

監査委員の意見（要旨）

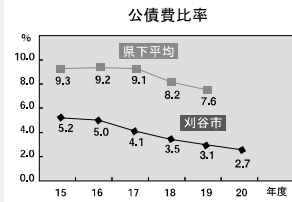
清渡 水邊 行敏 男

Ⅱ 一般会計・特別会計

本年度の決算状況は財政指標面からも良好に推移していると思われる。
しかし、堅調に推移してきた市民税の未曾有の経済危機による急激な落ち込み、少子高齢化、格差、環境といった社会情勢への対応などから厳しい局面を迎えることが予想されるなか、今後も健全財政を維持しながら、市民生活の向上を目指すべく、さまざまな社会的課題の解決に取り組んでいく必要がある。
今後も行政経営改革などにより歳出削減を推進し、より効率的で効果的な行政運営を大きな視点と細やかな気配りをもって図られ、市民が元気で幸せを実感できるまちづくりを推進するよう期待する。



※財政力指数…自治体の財政の強弱を測る方法 "1"を超えるほど財政に余裕がある



※公債費比率…地方債の元利償還に要する経費の一般財源に占める割合 通常10%以内が望ましい

財政状況を財政分析指標でみると、公債費比率は0.4ポイント向上したのに対し、財政力指数は0.2ポイント低下しているが、いずれの指標も財政運営上、依然良好な水準にあると認められた。

Ⅱ 水道会計

本年度の純利益は4年連続して1億円を超え、これにより企業の営業活動によって獲得できた利益の蓄積を示す利益剰余金も10億1,900万円となったが、これは現行の水道料金を維持しつつ効率的な給水に努めた企業努力によるところが大きく判断される。

また、貸借対照表から主要な経営指標をみると、財務状態の健全性を示す自己資本構成比率は前年度より2.0ポイント上昇、他機関からの資本依存度を示す固定負債構成比率は、企業債残高が減少したことにより0.4ポイント低下したが、いずれも経営の安全性が高くなっていることを示している。
本市は東海地震に係る地震災害対策強化地域であり、東海地震と東南海地震が同時に発生する可能性もあるため、これらに備えて、ダクタイル鋳鉄管等への布設替による耐震化率向上など浄水及び配水施設の強化が望まれる。

今後も市民の方々が安心して生活を営むことができるよう、積極的な事業推進に一層努められることを強く望む。

平成20年度に取り組んだ主な事業



あおば保育園を移転建築し、保育ニーズに対応

やすらぎ……

安心と安全の確保されたまちづくり

- ・ 犯罪防止のため、刈谷駅北口の駐輪場に青色防犯灯を設置 200万円
- ・ 刈谷税務署跡地にあおば保育園を移転建設(19・20年度) 4億5,159万円
- ・ 妊婦健診をはじめとする各種母子健康診査を実施 1億3,298万円
- ・ 放課後の子どもたちの安全な居場所作りのため放課後子ども教室のモデル事業を実施 376万円
- ・ 地域安全パトロール車の配備 958万円
- ・ 中学校卒業までの医療費の無料化を実施 6億55万円

いきがい……

活気と希望のあるまちづくり

- ・ 高度医療を確保するため、刈谷豊田総合病院の医療機器購入に補助 1億円
- ・ 旧刈谷青果市場跡地に保健センターを移転建設するため基本・実施設計を実施。 1億7,698万円
- ・ 国保加入者を対象に特定健康診査を実施 1億6,897万円
- ・ 老朽化した小垣江小学校体育館を改築 2億6,487万円
- ・ 遊休農地を活用した刈谷生きがい菜園センター運営事業を開始 2,644万円
- ・ 私立高等学校就学援助制度の拡充 1,751万円

いそぐり……

歴史と文化を大切にしたいまちづくり

- ・ 亀城公園を拡張整備するため、用地買収を実施 2億8,748万円
- ・ 市民会館で各種自主事業を開催 3,314万円
- ・ 今なお褪せない魅力をもつ内藤ルネ展を開催 1,740万円

うるおい…… 快適で魅力あるまちづくり

- ・ 地球温暖化防止のため、低公害車購入者に対し補助 760万円
- ・ 自治会が資源回収量増加を目的として設置する資源回収所の設置費に補助 120万円
- ・ 通勤通学者のホーム上の混雑解消のため、JR刈谷駅の駅舎等の改修費用を負担 1億1,845万円
- ・ JR及び名鉄三河線との立体交差路を整備 4億4,829万円
- ・ 刈谷駅南地区再開発にあわせ、駅前広場を整備 2億7,196万円
- ・ 刈谷駅北口及び逢妻駅北口に駐輪場を整備 1億6,354万円
- ・ 刈谷駅南地区再開発事業を促進し、市街地の健全な高度利用を推進 24億223万円
- ・ 民間木造住宅を無料耐震診断するとともに、非木造住宅の耐震診断費用に補助 2,033万円
- ・ 老朽化した市営住吉住宅を建て替え(2期分) 6億3,697万円
- ・ 老朽化した第二中学校給食センターを移転建設 3億8,355万円
- ・ 都市再生機構が建設する総合文化センターをはじめとする公益施設を取得 25億円



地区の資源回収所設置に補助(写真は高津波地区)

しんらい…… 政策を支える改革

- ・ 共存・協働のまちづくり推進基本方針策定に向け、市民ワーキング会議などを開催 320万円
- ・ 第7次総合計画策定に向けアンケート調査の実施とともに、プロジェクトチームを作り課題や方向性を整理 784万円
- ・ 平成22年度の竣工に向け、新庁舎の建設に着手 2億3,042万円



ホーム上の混雑解消のためJR刈谷駅を改修

水道事業のあらまし

項目	20年度	対前年度比較		
		増減数	増減率	
総人口	144,828人	371人	0.3%	
給水人口	144,538人	370人	0.3%	
普及率	99.8%	0.0%	-	
給水戸数	58,641戸	889戸	1.5%	
配水量	19,041,034立方メートル	▲259,874立方メートル	1.3%	
	市水配水量	5,564,770立方メートル	▲258,642立方メートル	4.4%
	県水配水量	13,476,264立方メートル	▲1,232立方メートル	0.0%
県水依存率	70.8%	1.0%	-	
有収水量率	95.6%	0.7%	-	
1人1日当たりの平均給水量	345ℓ	▲2ℓ	▲0.6%	
1㎡当たりの給水収益	133.86円	▲0.03円	0.0%	
1㎡当たりの給水費用	131.97円	1.15円	0.9%	

議決結果一覧表

- ・ 平成20年度刈谷市一般会計継続費の精算について 了承
- ・ 公平委員会委員の選任について 同意
- ・ 教育委員会委員の選任について 同意
- 【企画総務委員会関係・2議案】
- ・ 刈谷市税条例の一部改正について すべて可決
- ・ 刈谷市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について すべて可決
- 【福祉経済委員会関係・4議案】
- ・ 愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について すべて可決
- ・ 刈谷市国民健康保険条例の一部改正について すべて可決
- ・ 工事請負契約の締結について(仮称) 刈谷市保健センター建設(建築)工事 可決
- ・ 工事請負契約の締結について(仮称) 刈谷市保健センター建設(電気)工事 可決
- 【建設水道委員会関係・1議案】
- ・ 損害賠償の額を定めることについて 可決
- 【文教委員会関係・1議案】
- ・ 公益施設譲渡契約金額を確定する契約の締結について 可決
- 【平成20年度決算関係・11議案】
- ・ 一般会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・ 刈谷半城土高須土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・ 刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・ 北刈谷第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・ 下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・ 老人保健特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・ 介護保険特別会計歳入歳出決算認定について すべて可決
- ・ 水道事業会計決算認定について すべて可決
- 【平成21年度補正予算関係8議案】
- ・ 一般会計補正予算(第4号) すべて可決
- ・ 刈谷半城土高須土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- ・ 国民健康保険特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- ・ 老人保健特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- ・ 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- ・ 介護保険特別会計補正予算(第1号) すべて可決
- ・ 水道事業会計補正予算(第1号) すべて可決
- 【議長発議 1件】
- ・ 議員の派遣について 可決
- 【議員提出議案・3議案】
- ・ 学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書 すべて可決
- ・ 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書 すべて可決
- ・ 愛知県私学助成の増額と拡充に関する意見書 すべて可決